

# 専修大学LLだより

## 目次

### 特集 LL 教室利用のすすめ

新しい世界へ (LL 研究室長 大森洋子) .....	2
外国語学習は自動車の運転と同じ (経済学部助教授 仲川裕里) ...	3
英語以外の外国語も勉強しよう! (法学部教授 山本慧一) .....	3
語学相談のススメ (学生の体験談 1) .....	4
TOEFL-CBT セミナー (学生の体験談 2) .....	4
ボランティア通検セミナーを受講して (学生の体験談 3) .....	5
LL 研究室主催行事の紹介 .....	5
LL インフォメーション .....	6



LL 研究室

## 新しい世界へ



入学、進級おめでとうございます。気力も充実し、新しいことにチャレンジするのにふさわしい季節がやってきました。大学に入って大きく変わることは、自分で自分の時間割を決めるということです。自分が何をやりたいかが決定しないとなかなか時間割が定まらないかもしれません。まず、目標を立てましょう。この目標は履修計画だけではありません。大学の正規授業の他に、何か目標を立ててみたらどうでしょうか。外国語の勉強をそんな目標のひとつにさせていただきたいと思えます。外国語も必修科目としてだけ勉強するとなるとその興味も半減するかも知れません。どうしたらもっと楽しく勉強できるでしょうか。それぞれの国に興味を持つこと、そして言語を通して知ることのできる世界に積極的に触れることだと思います。LL 教室は、そんな皆さんの外国語学習のお手伝いをするための場です。

LL テープライブラリーにはたくさんの音声・映像教材があります。一番親しみを持って頂けるのは映画ビデオかもしれませんね。これらはスクリプトを表示しながら見ることもできますので、映画のセリフをそのまま聞き取ることができるよう訓練を重ねてみてはいかがでしょうかでし

うか。また、TOEIC、TOEFL 等の語学試験のための教材もそろっています。思い立ったときから勉強を始めて、就職に、留学に備えることができます。LL テープライブラリーには英語だけでなく英語以外の外国語の教材もたくさんあります。どんな教材を使ってどんな風に勉強したらよいか分からない場合とか、あまり外国語には興味なかったけど、少しは勉強して就職等に備えなくてはいけないなって考えている人は、語学相談スタッフがいますので遠慮しないで利用してみましょう。自分の目的にあった学習法を身に付けて頂くために協力を惜しみません。

昨年度より、LL テープライブラリーの教材を使いながら皆さんに語学検定等の情報、勉強法を紹介するためのセミナーも随時開催しております。これらを通してそれぞれの言語の理解を深め、勉強の指針を探して行ってほしいと願っています。

LL テープライブラリーは 1 号館地下にあります。誰でも利用できる施設ですので、授業の空き時間等を利用して足を運んでいただきたいと思えます。そしてこの LL だよりも皆さんに外国語に関するさまざまな情報を提供するために始まった企画です。これからは皆さんの意見交換の場としても大いに利用してほしいと思えます。自分の外国語学習にまつわる話、疑問等をお待ちしております。皆さんの外国語学習の輪がどんどん広がっていくことを願っています。

LL 研究室長・経営学部教授  
大森 洋子(スペイン語)

## 外国語学習は 自動車の運転と同じ

自動車の運転と外国語学習はよく似ている。

まず、どちらも正しい手順を踏んで、時間と労力を費やせば、一定のレベルに到達できる。運転には向き、不向きがあり、国際A級ライセンスが取れるくらいうまい人もいれば、「この人が免許を取るの？」と周囲を心配させるような人もいるが、そんな人でも、順を踏み、時間をかけて習えば、免許が取れるくらいのレベルには到達できる。外国語学習にも向き、不向きはあるが、たとえ向いていない人でも、順を踏み、時間と労力を費やせば、「免許が取れるくらいのレベル」

恥をかきながらも、日常の用は足せるくらいのレベルには到達できる。

また、一定のレベルに達するまでは、集中的に学習しなくては効果があがらないという点も似ている。多くの人、免許が取れるまで、ほぼ毎日教習所に通い、集中的に練習する。忙しくて一ヶ月に2、3時間しか練習できなければ、免許取得の望みは薄い。外国語も「授業の予習を週に2回30分やる」程度では何年たっても「免許が取れるレベル」には到達できないだろう。休憩を間に入れてよいから、毎日1時間半から2時間くらい集中して学習する必要がある(学習内容については、スペースがないので、またの機会に)。「免許が取れるくらいのレベル」に達すれば、ここまでしなくてもよいが、それでも定期的に練習する必要はある。車だって、定期的に運転をしていなければ、ペーパー・ドライバーになってしまう。外国語も同じである。

さらに、一部の例外を除いて、車の運転も外国語学習も手段であって、それ自体が目的ではないという点も同じである。運転が趣味だという人もいるが、多くの場合、人は移動や運搬の手段として車を運転している。外国語も、習うこと自体が好きという人もいるが、本来、外国語はそれを使って「何か」をするために学ぶのであり、この「何か」がない人がする外国語学習は挫折することが多いことを付け加えておく。

経済学部助教授 仲川 裕里(英語)

## 英語以外の外国語も勉強しよう！

新学期を迎え、希望や意欲に満ち溢れていることと思います。それに「英語以外の外国語を一つ勉強しよう」という目標を付け加えてください。「高校と大学の違いは？」とたずねた時、(1) 時間割を自分で作る(2) 英語以外の外国語を学ぶ(3) ゼミナールがある、これらが違いとしてよく例にあげられます。

大学で英語以外の外国語を学ぶことは、人生最後の機会であるといっても過言ではないでしょう。この機会を逃すと、英語以外の外国語を学ぶことはほぼ永久になくなってしまおうと思います。

英語以外の外国語をぜひ学んでください。

英語以外の外国語をなぜ学ぶ必要があるのか。中学生になったとき、なぜ英語を勉強しなければならぬのか、その意義や意味を考えたことがありますでしょうか。

現在、英語がほぼ世界の共通語になっています。しかし英語だけを勉強しては、物事を見る眼が狭くなります。世界には英語ばかりではなく、様々な言葉があります。視野が狭くなれば、物の見方や考え方が独善的になり、過ちを犯しやすくなります。だから英語以外の外国語を学ばなければなりません。

人間に目が二つあるように、外国語も二つ以上学ばなければ外国との違いや距離感がつかめません。外国との違いや距離感がつかめなければどうなるのでしょうか。

人も国も独りでは生きていきません。生きていくためには、互いに知り合わなければなりません。そのためにも英語ばかりではなく、英語以外の外国語を学ぶ必要があります。英語以外の外国語を学べば、より豊かな人生がきっと待ち受けているものと私は確信しております。

法学部教授 山本 慧一(フランス語)



## 語学相談のススメ

私が LL 教室を利用し始めたのは大学4年の11月頃からです。会計士2次試験に合格して監査法人の研修があったのですが、そこで、「翻訳が間に合わなかったので英語のまま研修行います。」といわれ、与えられた資料がほとんど読めなかったのがきっかけです。大学受験のときに英語が苦手です。今まで避けてきたのですが避けられないことを悟りました。そこで、どう勉強したらよいか、何から始めるか、その道しるべがほしくて LL 教室の語学相談を利用しました。

相談相手は岩淵先生で、先生は私の英語のレベルや苦手意識を考慮し、私のレベルに合わせて、勉強方法と課題を設定して、それに適した教材を紹介してくださいました。

また、メールで先生と勉強の進捗や疑問点について連絡を取り合ったりもしました。返信のメールも始めは日本語で、次は平易な英語でといった形で、私の学習をサポートしてくれました。それから少しずつですが、LL 教室に通うようになりました。

利用し始めて、今ではもっと早くから利用すればよかったと考えています。

これから学習を始めるみなさんには、まず一度 LL 教室での語学相談を受けてみることをオススメします。それから、LL 教室を利用すればより効率的に学習を進められるでしょう。

少しでも早く始めることで、ぜひ在学中に外国語をマスターしてください。

商学部 卒業生 車 龍和



## TOEFL-CBT セミナー

私は、LL スタッフの方に、LL 教室主催の TOEFL-CBT (=Computer Based Testing) セミナーを勧められたので受講することにしました。以前、TOEFL を受けたときに、コンピュータテストが実施されることを聞いていたので、これを機会に LL テープライブラリーのパソコン教材を使用できるライセンスを取っておこうと思いました。

セミナーはまず Macintosh コンピュータの操作方法から始まり、TOEFL-CBT の練習用ソフトの使用法まで、丁寧に教えてもらいました。今までのペーパーテストと違いパソコン上でのテストは色々な意味で大変でした。特に長文をパソコン上で読むとなると目が疲れました。何度か読む練習をして慣れておかないと、本番ではパニックを起こしてしまうかもしれません。

コンピュータテストはペーパーテストと異なる点が多くあるので、TOEFL を受験しようと考えている方はこのセミナーを受講しておくことをお勧めします。それに、先生から TOEFL-CBT のアドバイスも受けられるので、今後勉強する上で参考になると思います。LL 教室にはたくさんの教材がありますので、皆さんも是非、利用して語学力アップに励んで下さい。

経営学部 3年 佐久間 ちひろ





## ボランティア通検セミナーを 受講して

文学部の三浦弘先生の「ボランティア通検検定セミナー」を昨年の10月に受講しました。セミナーを受講するまではボランティア通検検定のことを全く知りませんでした。年2回6月と11月にボランティア通検検定試験があり、私は11月にボランティア通検検定B級を受けることにしました。自分の授業の合間にLL教室の自習室で、セミナーで先生から教わったLLテーブルライブラリーにあるボランティア通検検定のテキストを使って勉強しました。セミナーを受講してからLL教室に行って集中的に勉強できたことがボランティア通検検定の合格に繋がったと思います。

英米文学科の通訳の授業で三浦先生の「通訳入門」という授業があります。3年生になると履修ができるので勉強したいと思っています。

LL テーブルライブラリーには多くの教材が揃っています。これからも積極的に利用していきたいです。皆さんも是非利用してみてください。

文学部2年 吾妻 雅世



\* 吾妻さんの他に専修大学で昨年11月のボランティア通検検定試験B級に21名の人達が受かりました。

## LL 研究室主催行事の紹介

LL 研究室では次のような行事や、語学習得のための手助けを行っています。どんどん利用して下さい。

### 各種セミナー開催

平成12年度は

- コンピュータによるTOEFL-CBTセミナー(2回)
- スペイン語自習のすすめ・DELE準備セミナー(2回)
- ボランティア通検検定試験セミナー
- マルチメディア フランス語セミナー

の計6回を開催しました。

今年も多く of 言語や検定に関わるセミナーの開催を予定しています。受講料は無料です。開催については掲示でお知らせします。是非参加してみてください。また、企画して欲しいセミナーがありましたらLL事務室までお知らせ下さい。

### 語学相談

教員による語学相談を行っています。相談できる言語は現在のところ、英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・日本語です。相談は神田校舎でも行っています。ささいな事でも語学に関する事なら何でもかまいません。まずはLL事務室スタッフ(神田校舎は教務課窓口)に声をかけて下さい。

### LL だより

LL だよりは年数回発行しています。語学に役立つ先生方からのアドバイスや情報をはじめ、利用者の声、LL 研究室主催行事の案内、LL テーブルライブラリー、自習室の最新情報、教材紹介などなど...豊富な内容を盛り込んでいます。LL 事務室前(神田はLL自習室)、国際交流課、エクステンション事務課前等に備えています。語学学習の手助けとして活用して下さい。語学に関する情報がありましたら、LL 事務室までお知らせ下さい。多くの情報をお待ちしています。

### その他

各種検定の申込書をLL事務室前(神田校舎はLL自習室)に備えています。また、検定の日程やその他の情報等も随時掲示しています。

# LLインフォメーション

## LL 自習室利用時間のお知らせ

平成 13 年度授業期間における自習室利用時間をお知らせします。

### 生田校舎

火～木	9:00～17:30
月・金	9:00～16:30
土曜日	9:00～11:30

### 神田校舎

平日	9:00～20:45
土曜日	9:00～12:00 13:00～18:45

\* 補講期間や休暇期間は上記とは異なります。詳細については事前に掲示でお知らせします。

## お願い

生田校舎の LL 教室、LL テープライブラリー、LL 自習室は 1 号館の地下 1 階となります。

神田校舎の LL 教室、自習室は 1 号館地下 1 階となります。どちらの施設も喫煙及び飲食は禁止しています。これは、LL 機器に影響を与え授業や自習に支障を来す可能性が大きいからです。理解と協力をお願い致します。

## LL テープライブラリーの上手な利用の仕方

LL テープライブラリーは下記のような分類で教材を配架し、登録ラベルの色分けをしています。目的の言語、種類に応じた配架場所を確認して下さい。

### < 音声・映像・書籍教材 >

英語	.....	黄色ラベル
ドイツ語	.....	緑色ラベル
フランス語	.....	ピンク色ラベル
スペイン語	.....	オレンジ色ラベル
中国語	.....	青色ラベル
日本語・コリア語・ロシア語・インドネシア語・ イタリア語・その他の言語	.....	紫色ラベル
言語以外の教材	.....	黒色ラベル

### < 辞書・百科事典 >

### < 検定教材 >

### < 映画ビデオ >

### < コンピュータ教材 >

### < 月刊教材 >

\* 登録ラベルの色分けは前述に準じます。

## 編集後記

日本社会のグローバル化の必要性が叫ばれてもうかなりの年月が経ちましたが、その過程で英語公用語化論に見られるように、世界共通語になった(?) 英語一辺倒の外国語教育が国を挙げてなされるとしたら、それはこの国にとっても不幸なことです。確かに英語は、海外旅行や国際ビジネス、あるいは諸国民とのある程度の意味疎通には非常に有用な言語です。(ですから大いに勉強して下さい。)しかし、ヨーロッパにおいても、アジアにおいても、大多数の人々は英語を喋るわけではありません。言語とその言葉が話されている地域の社会・文化とは切っても切れない関係にあるとすると、多様な言語に触れることは、世界の多言語的環境を理解する上でも、世界のより多くの人々と有効な交流を持つためにも重要なことです。その意味でも、LL 教室や LL テープライブラリーの多言語的環境に、大いに慣れ親しんで下さい。(ほ)

## 皆さんからの声をお待ちしています

専修大学 LL だより 第 11 号

発行日 2001 年 4 月 1 日

(平成 13 年)

編集発行 専修大学 LL 研究室

室長 大森 洋子

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田 2-1-1

URL: <http://www.gkk.senshu-u.ac.jp>